集合知による知識体系構築のための意見集約手法

この論文では集合知による新しい知識体系 ( Body Of Knowledge,BOK ) を構築する手法を実践し提案している論文である．今回の論文では大学の学部や学科に掲載された情報をもとにして，その組織の教育内容を表現するBOKを構築する方法を提案している．なお，新しい手法とはクラスタ分析を用いて集合知からBOKを作成する手法であり，このBOKにはカリキュラムの作成と教育内容の把握といった二つの大きな役割を持っている．

　まずこのBOKを構築するために青山学院大学社会情報学部の授業シラバスの集合知を提案手法では以下の二点で活用をする．一点目はシラバスという複数人によって独立に記述された情報を利用する，二点目はクラスタ分析の前処理として用語を揃える作業を複数人の共同で行う．ここからシラバスのユニットにクラスタ分析を行い，できたクラスタをBOKのエリアと見なし構成する．なお，この提案手法の有効性は大学教員が評価するのと，現在人手によって構築が進められているBOKと比較することによって議論される．